

都市再生整備計画事業 事後評価シート(原案)

白子三丁目中央地区

平成29年1月

埼玉県和光市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	和光市		地区名	白子三丁目中央			面積		7		
交付期間	平成24年～平成28年		事後評価実施時期	H28年		交付対象事業費	1155	国費率	0.33					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	土地区画整理事業											
		提案事業	事業活用調査(まちづくり満足度調査・公園ワークショップ)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会・地域ふれあい活動)											
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業												
	提案事業													
	新たに追加した事業	基幹事業												
		提案事業												
	交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内人口	人	120	24	180	28		185	○	ありなし●	土地区画整理事業による公共施設整備が進んだことによって、集合住宅の建築が進んだため。	平成29年6月頃	
	指標2	まちづくり満足度調査	%	51	24	70	28		54	×	ありなし●	事業の進捗が遅れたことによって、公共施設整備の整備改善による受益を受けることが出来なかったために低評価につながった。		
	指標3									ありなし				
	指標4									ありなし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 新旧住民が交流を図り、共に地域の問題を解決していく場を構築する必要がある。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 地域ふれあい活動によって繋がった住民同士を、まちづくり活動へ発展させるために今後も防災訓練等を開催し、住民の主体的な組織作りを進める。				
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2－2 地区の概要

白子三丁目中央地区（埼玉県和光市）まちづくり交付金の成果概要														
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値						
安全で快適な住環境を形成するとともに、地域住民のコミュニティ形成やまちづくりへの参画をはかり、住民による継続的なまちづくりを進める。		地区内人口	単位： 人	120	H24	180	H28	185	H28					
		まちづくり満足度調査	単位： %	51	H24	70	H28	54	H28					
		土地区画整理事業		まちづくり協議会		地域ふれあい活動								
		公園整備（１号公園）		公園ワークショップ		公園整備（２号公園）								
まちの課題の変化		まちづくり協議会や公園ワークショップに参加する住民は同じような顔ぶれである一方、アンケート調査等を行うとこれらに参加していない住民から様々な意見が寄せられている。今後は、意見を持っている住民に協議会やイベントに積極的に参加してもらえるような呼びかけや企画を図る必要がある。また、災害時における避難路の確保や住民同士の連携などについても検討が必要である。												
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）		土地区画整理事業を更に進め事業を早期に完了させることにより、道路交通や災害に対する安全性が高まり、より安全で快適なまちを持続することが出来る。公園を憩いの場や遊び場としてだけでなく、災害時の避難場所として活用できるよう整備を行う必要がある。自治会やNPO法人の協力により、まちづくりや交流イベントを定期的に開催し、新旧住民や世代間の交流をより深めていく必要がある。自治会やNPO法人の協力を得て、多くの住民が参加し交流できるイベントを定期的に企画しコミュニティを図ると共に、まちづくりの課題を検討・協議する継続的なまちづくり体制の構築を進める必要がある。												



まちづくり協議会



地域ふれあい活動